第 8 地点　空撮

第 9・10 地点　遠景空撮

第 9 地点　空撮

第 9 地点　近景（手前：SK145，左奥：SK140）

第 10 地点　空撮

第 10 地点　中世墓（ST012）

第 11 地点　近景

第 12 地点　空撮

第 13 地点　空撮

大友親著墓

序　文

九州東部に位置する大分県大分市は、豊後水道に面しており、古来より政治や経済の拠点となった場所で、縄文時代の横尾貝塚、中世大友城下町跡、近世府内城・城下町跡など数多くの遺跡からも理解されます。

本書は、平成 16 年度から平成 19 年度に実施された県経営体育成基盤整備事業 (丹川地区) に伴う丹生川坂ノ市条里跡と丹生遺跡群の発掘調査報告書であります。丹生・丹川地区は大分市東部を北流する丹生川の中・上流域にあたり、過去の発掘調査では前期旧石器時代論争の的にもなった地域でもあります。今回の調査では、縄文時代から近世に至るまでの遺構や遺物などが発見されました。特に古代と中世の時代で、まとまった集落跡が確認できたことは、「豊後国風土記」に記された丹生郷や中世の丹生庄を解明していく上で、重要な資料となりました。調査成果が地域の教育、研究、文化財愛護の一助となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、今回の発掘調査にご理解、ご協力を頂いた大分県中部振興局、大分市耕地林業課、そして地元関係者の皆様をはじめとする関係各位に厚くお礼を申し上げます。

平成２１年３月

大分市教育委員会
教育長　足　立　　一　馬

例　言

1. 本書は大分市教育委員会が平成 16 年度～平成 19 年度に実施した丹生川坂ノ市条里跡（第 1 ～ 6、8 ～ 11、13 地点）、丹生遺跡群 (第 7、12 地点) の発掘調査報告書である。
2. 調査は県経営体育成基盤整備事業 (丹川地区) に伴い、大分県中部地方振興局の委託業務として、大分市が受託し、大分市教育委員会が調査主体となり実施した。
3. 調査にあたっては、大分県中部地方振興局農林基盤部、大分市耕地林業課、丹川地区圃場整備組合長　佐々木英三氏及び丹生・丹川地区住民の協力を得た。
4. 調査現場での実測、写真撮影等は第 1 章の調査組織の調査員が主体で行った。
5. 本書に掲載した遺物実測図等は、前項の調査員及び整理作業員が主体で行った。
6. 空中写真撮影は株式会社九州航空、株式会社写測エンジニアリングに委託した。
7. 遺物写真撮影は㈱フォトワーク大分に委託した。
8. 別府大学文化財研究所に荘園村落遺跡調査を委託した。
9. 出土遺物、図面、写真等は大分市教育委員会で保管している。
10. 本書の執筆は飯沼賢司 (別府大学教授)、中山昭則 (同大学教授)、五十川雄也、永松正大、山本哲也、山下朋紀が行い、編集は五十川・山本が行った。
11. 第 11 ～ 13 地点の発掘調査 (19 年度) は、労務管理などを九州総合文化財研究所に委託し、実施した。
12. 出土遺物については、第 9 地点出土遺物の吉備系土師器椀・土師質鍋・瓦器などを岡山大学埋蔵文化財調査研究センター教授山本悦世氏に御教示いただき、岡山市鹿田遺跡出土品の実見にあたり、御配慮いただいた。また、第 9 地点出土遺物の高台付瓦器皿などを臼杵市教育委員会神田高士氏に御教示いただき、臼杵市臼杵石仏群出土品の遺物実見にあたり、御配慮いただいた。
13. 出土遺物・記録資料は、大分市文化財資料室に収蔵・保管している。
14. 裏表紙の署名・花押は、大友親著巻数請取状（柞原八幡宮文書、年不詳十二月十八日、由原宮師御房宛）から引用した。
15. 各章の執筆者は、目次に記載している。

凡　例

1. 経営体育成基盤整備事業 (丹川地区) に伴う発掘調査地点は全 13 箇所である。今回の開発に伴う発掘調査地点は第 1 ～ 13 地点と表記している。また第 7・12 地点は丹生遺跡群に、残りのすべての地点は丹生川坂ノ市条里跡の周知遺跡に属する。出土遺物などの注記は第 1 ～ 13 地点を通して、略記号として「NSJ(丹生川坂ノ市条里跡の略)」を用い、例えば第 1 地点は NSJ-1 としている。第 7・12 地点の丹生遺跡群の遺物注記も NSJ で統一している。
2. 本文中に使用した遺構略記号は以下のように解釈される。
   SK: 土坑　SP: 柱穴及びピット　SD: 溝　SE: 井戸　SB: 掘立柱建物　SA: 柱穴列及び柵　SX: 性格不明遺構　SH: 竪穴建物　SF: 道路　ST: 墓　このほか、包含層や整地層という言語を用いている。
3. 本書で用いた方位はすべて座標北である。
4. 遺構実測に用いたグリッドは世界測地形を基準にしたものである。
5. 遺物実測図の掲載番号は R 番（遺物番号）であり、一部には S 番― R 番のものもある。
6. 柱穴内のトーン部は柱痕を示す。

目　次

第１章　はじめに（五十川雄也）…… 1
　第１節　調査の経緯 …… 1
　　（1）調査に至る経過 …… 1
　　（2）調査の経過 …… 1
　　（3）調査の体制 …… 1
　第２節　遺跡の立地と環境 …… 4
　　（1）地理的環境 …… 4
　　（2）歴史的環境 …… 4
第２章　第１地点の調査（五十川雄也）…… 11
　第１節　調査の内容 …… 12
　第２節　遺構と遺物 …… 12
　　（1）概要 …… 12
　　（2）弥生時代 …… 12
　第３節　小結 …… 15
第３章　第２地点の調査（五十川雄也）…… 17
　第１節　調査の内容 …… 18
　第２節　遺構と遺物 …… 18
　　（1）概要 …… 18
　　（2）弥生時代 …… 18
　　（3）古代以前 …… 19
　第３節　小結 …… 20
第４章　第３地点の調査（五十川雄也）…… 21
　第１節　調査の内容 …… 21
　第２節　遺構と遺物 …… 23
　　（1）概要 …… 23
　　（2）縄文時代 …… 23
　　（3）中世 …… 25
　第３節　小結 …… 32
第５章　第４地点の調査（五十川雄也）…… 33
　第１節　調査の内容 …… 33
　第２節　遺構と遺物 …… 33
　　（1）概要 …… 33
　　（2）古墳時代 …… 39
　　（3）古代（奈良・平安時代）…… 42
　　（4）中世（室町時代）…… 90
　　（5）近世 …… 146
　第３節　小結 …… 153
第６章　第５地点の調査（五十川雄也）…… 155
　第１節　調査の内容 …… 155
　第２節　遺構と遺物 …… 155
　　（1）概要 …… 155
　　（2）中世 …… 155
　第３節　小結 …… 157
第７章　第６地点の調査（山本哲也・五十川雄也）…… 159
　第１節　調査の内容 …… 159
　第２節　遺構と遺物 …… 166
　　（1）中世 …… 166
　　（2）第６地点周辺の確認調査 …… 208
　第３節　小結 …… 211
第８章　第７地点の調査（山本哲也）…… 213
　第１節　調査の内容 …… 213
　第２節　遺構と遺物 …… 214
　　（1）古代 …… 214
　第３節　小結 …… 227

第９章　第８地点の調査（五十川雄也）　229
第１節　調査の内容　229
第２節　遺構と遺物　230
（1）概要　230
（2）古代　230
第３節　小結　238
第 10 章　第９地点の調査（山本哲也）　239
第１節　調査の内容　239
第２節　遺構と遺物　242
（1）古代末～中世　242
（2）近世・近代　307
第３節　小結　312
第 11 章　第 10 地点の調査（五十川雄也）　313
第１節　調査の内容　313
第２節　遺構と遺物　313
（1）概要　313
（2）縄文時代　313
（3）弥生時代　314
（4）中世　316
第３節　小結　318
第 12 章　第 11 地点の調査（山本哲也）　319
第１節　調査の内容　319
第２節　遺構と遺物　319
（1）中世　319
第３節　小結　321
第 13 章　第 12 地点の調査（山本哲也・永松正大）　323
第１節　調査の内容　323
第２節　遺構と遺物　324
（1）古代・中世　324
第３節　小結　334
第 14 章　第 13 地点の調査（山本哲也・永松正大）　335
第１節　調査の内容　335
第２節　遺構と遺物　336
（1）中世　336
第３節　小結　347
第 15 章　試掘調査の結果（五十川雄也）　349
第１節　概要　349
第 16 章　考　　察（五十川雄也・山本哲也・山下朋紀）　369
第 17 章　丹川地区の村落遺跡調査と丹生荘の歴史（別府大学　飯沼賢司教授）　405
第 18 章　大分市丹川地区における圃場整備事業の展開と地域社会（別府大学　中山昭則教授）　435
第 19 章　自然科学調査（パリノ・サーヴェイ株式会社）　447
－遺物観察表－　471
－写真図版－　561

挿図目次

第1図　経営体育成基盤整備（円田地区）対象地（1/25000）……3
第2図　遺跡位置図……4
第3図　丹生地質図（1/35000）……6
第4図　発掘調査済の遺跡と古墳、石造物など位置図（1/35000）……7
第5図　調査区配置図（1/5000）……8・9
第6図　第1地点遺構配置図（1/250）……11
第7図　SD15遺構実測図（1/100）……12
第8図　SD15出土遺物実測図（1/4）……13
第9図　自然流路出土遺物実測図（1/4・1/2）……14
第10図　SK10遺構実測図（1/15）及び出土遺物実測図（1/4）……15
第11図　その他の遺構出土遺物実測図（1/4）……15
第12図　包含層出土遺物実測図（1/4）……16
第13図　第2地点遺構配置図（1/100）……17
第14図　SK015遺構・遺物実測図（1/30・1/3）……18
第15図　SB001遺構実測図（1/80）……19
第16図　SB002遺構実測図（1/80）……19
第17図　SD011遺構・遺物実測図（1/80・1/3）……20
第18図　包含層遺物実測図（1/3）……20
第19図　遺構配置図（1/150）……21
第20図　縄文時代包含層平面図・土層図（1/150・1/80）……22
第21図　基本層序（1/80）……23
第22図　壁からの出土遺物（1/3）……23
第23図　縄文時代包含層出土遺物（1/3）……23
第24図　SK001遺構実測図（1/40）……24
第25図　SK001出土遺物実測図（1/4）……24
第26図　SK002遺構実測図（1/40）……24
第27図　SK002出土遺物実測図（1/6）……24
第28図　SB001遺構・遺物実測図（1/80・1/3）……25
第29図　SB002遺構・遺物実測図（1/80・1/3）……26
第30図　SB003遺構・遺物実測図（1/80・1/3）……27
第31図　SB004遺構実測図（1/80）……27
第32図　SA001遺構実測図（1/80）……28
第33図　SA002遺構実測図（1/80）……28
第34図　SA003遺構実測図（1/80）……28
第35図　その他の柱穴出土遺物実測図（1/3）……28
第36図　SK004遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……29
第37図　SK140遺構実測図（1/40）……30
第38図　SX001集石実測図（1/80）……30
第39図　中世造成土（S100）出土遺物実測図①（1/3）……30
第40図　中世造成土（S100）出土遺物実測図②（1/3）……31
第41図　中世造成土（S100）出土遺物実測図③（1/3）……32
第42図　近世遺構出土遺物（1/3）……32
第43図　第4地点周（NSJ－4）辺図（1/2500）……33
第44図　第4地点遺構配置図（1/500）と基本層序（1/60）……34
第45図　第4地点古墳～古代遺構配置図①（1/200）……35
第46図　第4地点古墳～古代遺構配置図②（1/200）……36
第47図　第4地点古墳～古代遺構配置図③（1/200）……37
第48図　第4地点古墳～古代遺構配置図④（1/200）……38
第49図　SP2519遺構実測図（1/20）……39
第50図　SP2519出土遺物実測図（1/3）……39
第51図　SK006遺構・出土遺物実測図（1/20・1/3）……40
第52図　SH690遺構・出土遺物実測図（1/60・1/3）……40
第53図　SH1035遺構実測図（1/60）……41
第54図　SP1032遺構実測図（1/20）……41
第55図　SH1035出土遺物実測図（1/3）……41
第56図　SB001遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3・1/2）……42
第57図　SB002遺構実測図（1/80）……43
第58図　SB003遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……44
第59図　SB004遺構実測図（1/80）……45
第60図　SB004ほか出土遺物実測図（1/3）……46
第61図　SB005遺構実測図（1/80）……47
第62図　SB005ほか出土遺物実測図（1/3）……48
第63図　SB006遺構実測図（1/80）……49
第64図　SB006ほか出土遺物実測図（切合遺構含）（1/3）……50
第65図　SB007遺構実測図（1/80）……51
第66図　SB007出土遺物実測図（1/3・1/2）……52
第67図　SB008遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……53
第68図　SB009遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……54
第69図　SB010遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……55
第70図　SB011遺構実測図（1/80）……56
第71図　SB011ほか出土遺物実測図（1/3）……57
第72図　SB012遺構実測図（1/80）……58
第73図　SB012ほか出土遺物実測図（1/3）……59
第74図　SB013遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……60
第75図　SB014遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……61
第76図　SB015遺構実測図（1/80）……62
第77図　SB015出土遺物実測図（1/3・1/2）……63
第78図　SB016遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……64
第79図　SB017遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……65
第80図　SB018遺構実測図（1/80）……66
第81図　SB019遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……66
第82図　SB020遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……67
第83図　SB021遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……68
第84図　SB022遺構実測図（1/80）……68
第85図　SB023遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……69
第86図　SA001遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……70
第87図　SA002遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……70
第88図　SA003遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……71
第89図　SD864、901、1033、1034遺構実測図（1/80）……72
第90図　SD861、901、1034出土遺物実測図（1/3）……72
第91図　SD2200遺構実測図（1/80）……73
第92図　SD2200出土遺物実測図①（1/3）……74
第93図　SD2200出土遺物実測図②（1/3）……75
第94図　SK060・270遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……76
第95図　SK1029遺構・出土遺物実測図（1/20・1/3）……77
第96図　SK1695遺構・出土遺物実測図（1/20・1/3・1/6）……78
第97図　SK2425遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……79
第98図　その他柱穴出土遺物実測図①（1/3）……83
第99図　その他柱穴出土遺物実測図②（1/3）……84
第100図　その他柱穴出土遺物実測図③（1/3）……85
第101図　その他柱穴出土遺物実測図④（1/3）……86
第102図　その他柱穴出土遺物実測図⑤（1/3）……87
第103図　その他柱穴出土遺物実測図⑥（1/3）……88
第104図　その他柱穴出土遺物実測図⑦（1/3）……89
第105図　その他柱穴出土遺物実測図⑧（1/3）……90
第106図　第4地点中世遺構配置図①（1/200）……91
第107図　第4地点中世遺構配置図②（1/200）……92
第108図　第4地点中世遺構配置図③（1/200）……93
第109図　第4地点中世遺構配置図④（1/200）……94
第110図　SB024遺構実測図（1/80）……95
第111図　SB025遺構実測図（1/80）……95
第112図　SB026遺構実測図（1/80）……96
第113図　SB026出土遺物実測図（1/3）……97
第114図　SB027遺構実測図（1/80）……97
第115図　SB028遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……98
第116図　SB029遺構実測図（1/80）……98
第117図　SB030遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……99
第118図　SB031遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……100
第119図　SB032遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……101
第120図　SB033遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……102
第121図　SB034遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……103
第122図　SB035遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……104
第123図　SB036遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……104
第124図　SB037遺構実測図（1/80）……105
第125図　SB038遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……105
第126図　SB039遺構実測図（1/80）……106
第127図　SB040遺構実測図（1/80）……107
第128図　SB041遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……108
第129図　SB042遺構実測図（1/80）……109
第130図　SB043遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……110
第131図　SB044遺構実測図（1/80）……111
第132図　SB045遺構実測図（1/80）……112
第133図　SB046遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……112
第134図　SB047遺構実測図（1/80）……113
第135図　SB048遺構実測図（1/80）……114
第136図　SB049遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……115
第137図　SB050遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……115
第138図　SB051遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……116
第139図　SB052遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……117
第140図　SA004遺構実測図（1/80）……118
第141図　SA005遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……118
第142図　SA006遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……119
第143図　SA007遺構実測図（1/80）……119
第144図　SA008遺構実測図（1/80）……119
第145図　SA009遺構実測図（1/80）……120
第146図　SA009出土遺物実測図（1/3）……120
第147図　SD1575遺構実測図（1/80）……121
第148図　SD2587・580・587遺構実測図（1/80）……121
第149図　SD2300遺構実測図（1/80）……121
第150図　SK004遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……122
第151図　SK005遺構実測図（1/30）……123
第152図　SK005出土遺物実測図（1/3）……123
第153図　SK400遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……123
第154図　SK500遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……124
第155図　SK600遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……124
第156図　SK700遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……125
第157図　SK715遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……125
第158図　SK1265遺構実測図（1/20）……126
第159図　SK1265出土遺物実測図①（1/3）……127
第160図　SK1265出土遺物実測図②（1/3）……128
第161図　SK1265出土遺物実測図③（1/3）……129
第162図　SK1265出土遺物実測図④（1/3）……130
第163図　SK1265出土遺物実測図⑤（1/3）……131
第164図　銭貨実測図①（1/1）……133
第165図　銭貨実測図②（1/1）……134
第166図　銭貨実測図③（1/1）……135
第167図　銭貨実測図④（1/1）……136
第168図　SK1385遺構実測図（1/30）……137
第169図　SK1385出土遺物実測図（1/3）……137
第170図　SK1550遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……137
第171図　SK1847遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……138
第172図　SK2188遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……138
第173図　中世pit出土遺物実測図①（1/3・1/2）……140
第174図　中世pit出土遺物実測図②（1/3）……141
第175図　中世pit出土遺物実測図③（1/3）……142
第176図　中世pit出土遺物実測図④（1/3・1/2）……143
第177図　中世造成土出土遺物実測図①（1/3）……144
第178図　中世造成土出土遺物実測図②（1/3）……145
第179図　SB053遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……146
第180図　SD1095・1096遺構・出土遺物実測図（1/150・1/40・1/3）……147
第181図　SD1096出土遺物実測図（1/3・1/2）……148
第182図　SX1-a出土遺物実測図①（1/3・1/2）……149
第183図　その他柱穴出土遺物実測図（1/3）……150
第184図　表土遺物実測図①（1/3）……151
第185図　表土遺物実測図②（1/3・1/2）……152
第186図　表土遺物実測図③（1/2）……153
第187図　第5地点（NSJ－5）遺構配置図（1/100）……155
第188図　SB001遺構実測図（1/80）・出土遺物実測図（1/3）……156
第189図　SB002遺構実測図（1/80）……156
第190図　SB003遺構実測図（1/80）……156
第191図　SB004遺構実測図（1/80）……156
第192図　SB005遺構実測図（1/80）・出土遺物実測図（1/3）……157
第193図　その他ピットからの出土遺物（1/3）……157
第194図　第6地点遺構配置図（1/600）……160
第195図　第6地点Ⅰ区全体図（1/200）……161
第196図　第6地点Ⅱ区全体図（1/200）……162
第197図　第6地点Ⅲ区全体図（1/200）……163
第198図　第6地点Ⅳ区全体図（1/200）……164
第199図　第6地点Ⅴ区全体図（1/200）……165
第200図　第6地点掘立柱建物配置図（1/600）……166
第201図　SB001遺構実測図（1/80）……167
第202図　SB001出土遺物実測図（1/3）……167
第203図　SB002遺構実測図（1/80）……167
第204図　SB003遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……167
第205図　SB004遺構実測図（1/80）……168
第206図　SB005遺構実測図（1/80）……168
第207図　SB006遺構実測図（1/80）……168
第208図　SB006出土遺物実測図（1/3）……168
第209図　SB007遺構実測図（1/80）……169
第210図　SB008遺構実測図（1/80）……169
第211図　SB009遺構実測図（1/80）……169
第212図　SA001遺構・出土遺物実測図（1/80・1/3）……170
第213図　SA002遺構実測図（1/80）……170
第214図　その他ピット出土遺物実測図（1/3）……171
第215図　第6地点溝・道路状遺構配置図（1/800）……172
第216図　SD001遺構実測図（1/100・1/80）……173
第217図　SD001（上・中層）出土遺物実測図（1/3）……173
第218図　SD001（下層）出土遺物実測図（1/3）……174
第219図　SD500遺構実測図（1/80・1/60・1/40）……175
第220図　SD500出土遺物実測図①（1/3・1/4）……176
第221図　SD500出土遺物実測図②（1/2・1/3・1/4）……177
第222図　SD555遺構実測図（1/150・1/40）……178
第223図　SD555出土遺物実測図（1/2・1/3）……179
第224図　SD875遺構実測図（1/40）……179
第225図　SF1000遺構実測図（1/80）……180
第226図　第6地点土坑・井戸・竪穴・性格不明遺構配置図（1/800）……181
第227図　SK010遺構実測図（1/20）……181
第228図　SK010出土遺物実測図（1/3）……182
第229図　SK035遺構実測図（1/30）……182
第230図　SK035出土遺物実測図（1/2・1/3）……183
第231図　SK013遺構・出土遺物実測図（1/30・1/2・1/3）……184
第232図　SK015遺構実測図（1/30）……184
第233図　SK015出土遺物実測図（1/3）……185
第234図　SK029遺構・出土遺物実測図（1/3・1/3）……186
第235図　SK030遺構実測図（1/30）……186
第236図　SK505遺構・出土遺物実測図（1/60・1/3・1/4）……187
第237図　SK540遺構・出土遺物実測図（1/30・1/3）……187
第238図　SK510遺構実測図（1/20）……188
第239図　SK510出土遺物実測図①（1/3）……189
第240図　SK510出土遺物実測図②（1/3）……190
第241図　SK510出土遺物実測図③（1/3）……191
第242図　SK510出土遺物実測図④（1/3）……192
第243図　SK510出土遺物実測図⑤（1/3）……193
第244図　SK510出土遺物実測図⑥（1/3）……194
第245図　SK510出土遺物実測図⑦（1/3）……195
第246図　SK510出土遺物実測図⑧（1/3）……196
第247図　SK510出土遺物実測図⑨（1/3）……197
第248図　SK510出土遺物実測図⑩（1/3）……198
第249図　SK510出土遺物実測図⑪（1/3）……199
第250図　SK510出土遺物実測図⑫（1/3）……200
第251図　SK515遺構・出土遺物実測図（1/20・1/3）……201
第252図　SK520遺構実測図（1/20）……202
第253図　SK520出土遺物実測図（1/3）……202
第254図　SK525遺構実測図（1/20）……203
第255図　SK525出土遺物実測図（1/8）……204

第256図　SK707遺構実測図(1/20)……204
第257図　SK707出土遺物実測図(1/3)……204
第258図　SE580遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……205
第259図　包含層出土遺物実測図(1/3)……206
第260図　第6地点周辺確認調査遺構全体図(1/600)……207
第261図　1区C遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……208
第262図　T106・SK001遺構・出土遺物実測図(1/3)……209
第263図　T111・SE001遺構実測図(1/30)……210
第264図　T111出土遺物実測図(1/4)……211
第265図　第7地点遺構配置図(1/300)……213
第266図　主要遺構全体図(1/200)……214
第267図　南壁土層図(1/100)……214
第268図　SB002遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3)……215
第269図　SB003遺構実測図(1/80)……215
第270図　SB004遺構・出土遺物実測図(1/80・1/4)……216
第271図　SB005遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3)……216
第272図　SA001遺構・出土遺物実測図(1/80)・1/4)……217
第273図　SA002遺構実測図(1/80)……217
第274図　SX001石敷検出・周辺遺構(1/60)……218
第275図　SX001土層断面実測図(1/60)……218
第276図　SX001断面見通し図(1/60)……219
第277図　SX001上層出土遺物実測図(1/3・1/4)……220
第278図　SX001下層出土遺物実測図(1/3・1/4)……221
第279図　SB001・SX001石敷下遺構実測図(1/80)……221
第280図　SB001出土遺物実測図(1/6)……221
第281図　SX001石敷下出土遺物実測図(1/3)……222
第282図　SX005遺構実測図(1/40)……222
第283図　SX005出土遺物実測図(1/3)……223
第284図　SK010出土遺物実測図(1/3)……223
第285図　SD020遺構実測図(1/60・1/40)……224
第286図　SD020出土遺物実測図(1/3・1/4)……225
第287図　SP025・SP035遺構実測図(1/60)……225
第288図　SP035出土遺物実測図(1/6)……225
第289図　その他の遺構出土遺物実測図①(1/3・1/4)……226
第290図　その他の遺構出土遺物実測図②(1/3)……227
第291図　壁土出土分布図(1/200)……228
第292図　第8地点遺構配置図(1/150)……229
第293図　基本層序模式図……230
第294図　SB001掘立柱建物跡遺構実測図(1/80)……230
第295図　SB001出土遺物実測図(1/3)……230
第296図　SB002遺構実測図(1/80)……231
第297図　SB003遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3)……231
第298図　SB004遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3)……232
第299図　SB005遺構実測図(1/80)……233
第300図　SB006遺構実測図(1/80)……233
第301図　その他のピット出土遺物実測図(1/3)……233
第302図　SD020遺構実測図(1/80)……233
第303図　SD020出土遺物実測図(1/3)……234
第304図　SK030遺構実測図(1/80)……234
第305図　SK040遺構実測図(1/80)……234
第306図　SK030出土遺物実測図(1/3)1335・1338(1/4)……235
第307図　包含層出土遺物実測図①(1/3)……236
第308図　包含層出土遺物実測図②(1/3)……237
第309図　第9地点遺構配置図(1/300)……239
第310図　第9地点遺構完掘図①(1/200)……240
第311図　第9地点遺構完掘図②(1/200)……241
第312図　SB001遺構実測図(1/80)……243
第313図　SB002遺構実測図(1/80)……243
第314図　SB003遺構実測図(1/80)……244
第315図　SB004遺構実測図(1/80)……245
第316図　SB005遺構実測図(1/80)……245
第317図　SB006遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3)……246
第318図　SB007遺構実測図(1/80)……246
第319図　SB008遺構実測図(1/80)……246
第320図　SB009遺構・出土遺物実測図(1/100・1/3)……247
第321図　SB010遺構実測図(1/100)……247
第322図　SB011遺構実測図(1/80)……248
第323図　SB012遺構実測図(1/80・1/4)……248
第324図　SB013遺構実測図(1/80)……249
第325図　SB014遺構実測図(1/80)……249
第326図　SB015遺構実測図(1/80)……250
第327図　SB016遺構実測図(1/80)……250
第328図　SB017遺構実測図(1/80)……250
第329図　SB018遺構実測図(1/80)……251
第330図　SB019遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3)……251
第331図　SB020遺構実測図(1/80)……252
第332図　SB020・SB021出土遺物実測図(1/3)……252
第333図　SB021遺構実測図(1/80)……252
第334図　SB022遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3)……253
第335図　SB023遺構実測図(1/80)……254
第336図　SB024遺構実測図(1/80)……254
第337図　SB025遺構実測図(1/80)……255
第338図　SB026遺構実測図(1/80)……255
第339図　柵跡実測図①(1/80)……257
第340図　柵跡実測図②(1/80)……258
第341図　SP400遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……259
第342図　SP410出土遺物実測図(1/3)……259
第343図　ピット出土遺物実測図(1/3)……260
第344図　SD030遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3)……261
第345図　SD070遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3)……262
第346図　古代・中世土坑・井戸配置図(1/300)……263
第347図　SK040遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3)……264
第348図　SK045遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3)……265
第349図　SK055遺構・出土遺物実測図(1/20・1/3)……266
第350図　SK065遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3)……267
第351図　SK085遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……268
第352図　SK086遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……268
第353図　SK089遺構・出土遺物実測図(1/30)……269
第354図　SK094遺構実測図(1/30)……269
第355図　SK096遺構実測図(1/30)……270
第356図　SK100遺構・出土遺物実測図(1/60・1/3)……271
第357図　SK105遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……271
第358図　SK110遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3・1/4)……272
第359図　SK111遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……273
第360図　SK115遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……274
第361図　SK120遺構実測図(1/40)……275
第362図　SK120出土遺物実測図(1/3)……276
第363図　SK121遺構実測図(1/30)……277
第364図　SK125遺構実測図(1/40)……278
第365図　SK125出土遺物実測図①(1/3)……280
第366図　SK125出土遺物実測図②(1/3)……281
第367図　SK135遺構・出土遺物実測図①(1/30・1/3)……282
第368図　SK135出土遺物実測図②(1/3)……283
第369図　SK140遺構実測図(1/20)……285
第370図　SK140出土遺物実測図①(1/3)……286
第371図　SK140出土遺物実測図②(1/3)……287
第372図　SK140出土遺物実測図③(1/3)……288
第373図　SK140下層出土遺物実測図(1/3)……290
第374図　SK145遺構実測図(1/40)……291
第375図　SK145出土遺物実測図①(1/3)……292
第376図　SK145出土遺物実測図②(1/3)……293
第377図　SK145出土遺物実測図③(1/3)……294
第378図　SK150遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……294
第379図　SK155遺構・出土遺物実測図(1/30・1/3)……295
第380図　SE015遺構実測図(1/40)……296
第381図　SE015出土遺物実測図①(1/3)……297
第382図　SE015出土遺物実測図②(1/3・1/4)……298
第383図　SE080遺構実測図(1/60)……298
第384図　SE080出土遺物実測図①(1/3)……299
第385図　SE080出土遺物実測図②(1/3・1/4)……300
第386図　SE080出土遺物実測図③(1/3)……301
第387図　SE080出土遺物実測図④(1/3)……302
第388図　包含層位置図(1/400)……303
第389図　SX130出土遺物実測図①(1/3)……304
第390図　SX130出土遺物実測図②(1/3)……305
第391図　SX165出土遺物実測図(1/3)……306
第392図　SX170出土遺物実測図(1/3)……306
第393図　近世・近代遺構配置図(1/300)……307
第394図　表土剥ぎ・遺構検出出土遺物実測図(1/3)……311
第395図　第10地点遺構配置図(1/150)……313
第396図　SK011遺構実測図(1/20)・出土遺物実測図(1/4)……314
第397図　SH001遺構・出土遺物実測図(1/80・1/3)……314
第398図　SH002遺構実測図(1/80)……315
第399図　SH003遺構実測図(1/80)……315
第400図　SH004遺構実測図(1/80)……315
第401図　SH005遺構実測図(1/80)……316
第402図　SH006遺構実測図(1/80)……316
第403図　SH007遺構実測図(1/80)……316
第404図　ST012遺構実測図(1/20)……317
第405図　ST012出土遺物実測図(1/2)……317
第406図　その他の遺構出土遺物実測図(1/3)……318
第407図　第11地点遺構配置図(1/150)・土層模式図……320
第408図　掘立柱建物跡実測図(1/60)……321
第409図　ピット出土遺物実測図(1/3)……322
第410図　第12地点遺構配置図(1/200)……323
第411図　調査区中央ベルト・北東隅土層断面図(1/80)……323
第412図　SB001遺構実測図(1/80)……324
第413図　SK001遺構実測図(1/30)……325
第414図　SK001出土遺物実測図(1/3)……325
第415図　集石1遺構実測図(1/40)……326
第416図　集石2遺構実測図(1/40)……326
第417図　集石3遺構実測図(1/40)……327
第418図　集石4遺構実測図(1/40)……327
第419図　SX001出土遺物実測図(1/3)……328
第420図　SX004・003出土遺物実測図(1/3)……329
第421図　SX002出土遺物実測図(1/3)……330
第422図　SX003出土遺物実測図①(1/3)……331
第423図　SX003出土遺物実測図②(1/6)……332
第424図　SX003出土遺物実測図③(1/6)……333
第425図　第13地点調査区全体図(1/300)・基本層序図……335
第426図　SB001遺構実測図　(1/80)……336
第427図　SB002遺構・出土遺物実測図　(1/80・1/3)……337
第428図　SB003遺構実測図(1/80)……337
第429図　SB004遺構実測図(1/80)……338
第430図　SB005遺構実測図(1/80)……338
第431図　SB006遺構実測図(1/80)……339
第432図　SB007遺構実測図(1/80)……339
第433図　SA001～SA007遺構実測図(1/80)……341
第434図　ピット出土遺物実測図(1/3・1/4)……341
第435図　SD010遺構実測図(1/250・1/60)……342
第436図　SD010出土遺物実測図(1/3)……343
第437図　SK001・026遺構実測図(1/60)……343
第438図　SK002遺構・出土遺物実測図(1/60・1/3)……343
第439図　SK005遺構実測図(1/40)……344
第440図　SK005上層出土遺物実測図(1/3)……345
第441図　SK005下層出土遺物実測図(1/3)……345
第442図　SK020遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3)……346
第443図　SK024遺構実測図(1/60)……346
第444図　SK024出土遺物実測図(1/3)……347
第445図　SX003・010出土遺物実測図(1/3)……347
第446図　遺跡全体図及び現況周辺図(1/1000)……348
第447図　T90遺構実測図(1/40)……349
第448図　トレンチ配置図……350
第449図　延命寺地区周辺トレンチ状況……351
第450図　野間地区周辺トレンチ状況……352
第451図　T90出土遺物実測図(1/3)……353
第452図　T91遺構実測図(1/40)……354
第453図　T91出土遺物実測図(1/3)……354
第454図　T172遺構・出土遺物実測図(1/40・1/3)……355
第455図　185トレンチ実測図(1/40)……355
第456図　T185出土遺物実測図①(1/3)……356
第457図　T185出土遺物実測図②(1/3)……357
第458図　その他のトレンチ出土遺物実測図①(1/3)……358
第459図　その他のトレンチ出土遺物実測図②(1/3)……359
第460図　その他のトレンチ出土遺物実測図③(1/3)……360
第461図　その他のトレンチ出土遺物実測図④(1/3)……361
第462図　その他のトレンチ出土遺物実測図⑤(1/3)……362
第463図　その他のトレンチ出土遺物実測図⑥(1/3)……363
第464図　その他のトレンチ出土遺物実測図⑦(1/3)……364
第465図　その他のトレンチ出土遺物実測図⑧(1/3)……365
第466図　その他のトレンチ出土遺物実測図⑨(1/3)……366
第467図　その他のトレンチ出土遺物実測図⑩(1/3)……367
第468図　縄文～古代の土器①(1/6・1/8)……370
第469図　縄文～古代の土器②(1/6・1/8)……371
第470図　縄文～古代の土器③(1/6・1/8)……373
第471図　縄文～古代の土器④(1/6・1/8)……374
第472図　縄文～古代の土器⑤(1/6・1/8)……376
第473図　縄文～古代の土器⑥(1/6・1/8)……377
第474図　縄文～古代の土器⑦(1/6・1/8)……378
第475図　丹生川流域中世土器編年図①(1/6)……381
第476図　丹生川流域中世土器編年図②(1/6)……382
第477図　丹生川流域中世土器編年図③(1/6)……383
第478図　古園石仏前庭部出土瓦器(1/3)……387
第479図　豊後府内出土瓦質土器……388
第480図　第4地点古代建物跡変遷図……391
第481図　第7・8地点古代建物跡変遷図……392
第482図　第4地点中世建物跡変遷図……393
第483図　中世出土銭貨フローチャート……395
第484図　荒田遺跡SX072……396
第485図　中世大友府内町跡第5次調査区……396
第486図　染井遺跡出土瓦質土器……397
第487図　中世大友府内町跡第5次調査区……397
第488図　大分平野の埋葬遺構……399
第489図　第7地点石敷遺構と立地……400
第490図　NSJ4・6・9・10地点出土中世墓……402
第491図　第6地点SK510と大友館跡出土かわらけ大量廃棄土坑……403

表目次

表1　銭貨観察表……132
表2　近世・近代遺構観察表①……308
表3　近世・近代遺構観察表②……309

※第18章・19章の表番号は除く

第１章　はじめに

第１節　調査の経緯

（１）調査に至る経緯

平成16年度に大分市耕地林業課から大分市教育委員会へ大分市丹川地区の遺跡の照会があった。開発は経営体育成基盤整備事業で、対象面積が40ｈａを越えることと、周知遺跡である丹生川坂ノ市条里跡や丹生遺跡群に含まれることがわかり、平成15年度末から平成17年度にかけて試掘調査を実施した。その結果、遺跡は広範囲に広がっていることがわかり、大分市耕地林業課、大分県中部振興局と協議を重ねた結果、遺跡の大部分は現状保存をすることになったが、一部を発掘調査による記録保存をすることとなった。本調査は平成16年度～平成19年度まで実施され、全13地点に及んだ。平成16年7月13日付け大分局耕第489号文化財保護法第57条の3(丹生遺跡群）と平成16年7月13日付け大分局第489号同法第57条の3(丹生川坂ノ市条里跡)の届出が大分県大分地方振興局から大分市教育委員会へ提出され、平成17年3月18日付け同法第58条2の提出により、第１～３地点の本調査を実施した。平成17年度は丹生川坂ノ市条里跡を平成17年10月14日付け同法第99条第1項の届出により第4～6･8地点、丹生遺跡群を平成１7年18年1月11日付け同法第99条第1項の届出により第7地点の本調査を行った。平成18年度は平成18年8月22日付け同法第99条第1項の届出により、第9･10地点の本調査を行った。平成19年度は丹生川坂ノ市条里跡を平成19年11月2日付け同法第99条第1項の届出により第11･13地点の本調査、丹生遺跡群を平成19年11月2日付け同法第1項の届出により、第12地点の本調査を実施した。

（２）調査の経過

本発掘調査は、平成16～平成19年の４年間実施した。調査地点は周知遺跡からすると2遺跡にまたがるが、同事業の開発であるため、調査地点は通し番で示している。以下、地点と調査期間を記す。

丹生川坂ノ市条里跡　(第1地点)	平成17年1月21日～平成17年2月28日
丹生川坂ノ市条里跡　(第2地点)	平成17年1月21日～平成17年2月28日
丹生川坂ノ市条里跡　(第3地点)	平成17年2月28日～平成17年3月25日
丹生川坂ノ市条里跡　(第4地点)	平成17年4月11日～平成17年9月30日
丹生川坂ノ市条里跡　(第5地点)	平成17年4月15日～平成17年4月22日
丹生川坂ノ市条里跡　(第6地点)	平成17年10月6日～平成17年12月28日
丹生遺跡群　(第7地点)	平成18年1月10日～平成18年3月15日
丹生川坂ノ市条里跡　(第8地点)	平成18年1月12日～平成18年3月8日
丹生川坂ノ市条里跡　(第9地点)	平成18年4月24日～平成18年9月29日
丹生川坂ノ市条里跡　(第10地点)	平成18年8月28日～平成18年9月29日
丹生川坂ノ市条里跡　(第11地点)	平成19年7月2日～平成19年7月16日
丹生遺跡群　(第12地点)	平成19年12月4日～平成20年1月30日
丹生川坂ノ市条里跡　(第13地点)	平成19年11月2日～平成20年1月30日

（３）調査の体制

経営体育成基盤整備事業(丹川地区)の本調査は平成16年度から20年度まで実施された。当該事業は開発面積が広いことから効率的な調査と開発が求められていたため、平成16年度に別府大学文化財研究所(所長　飯沼賢司教授)に歴史地理的観点から水掛りや地名などを中心とした丹生丹川地区の景観調査の委託を行い、試掘成果と併せて、効率的な事業進捗にあたった。また本調査の成果を景観調査に取りいえれるため、調査指導者として別府大学飯沼賢司教授に依頼している。

以下、発掘調査事務局の調査体制以下のとおりである。

発掘調査及び整理作業体制（平成16年度～平成20年度）

調査主体：　大分市教育委員会

調査指導：　別府大学教授　飯沼　賢司

調査総括：　教育長　秦　政博(～18年度)　足立　一馬(19年度～)

教育総務部次長兼文化財課長　玉永　光洋(20年度)

文化財課長　帯刀　修一(16年度)　足立　昌人(17年度)　佐藤　功　(18年度)
玉永　光洋(19年度)

参事　玉永　光洋(～18年度)　渋谷　建治(19年度)　岩田　祐治(20年度)

(文化財係)

課長補佐兼文化財係長　讃岐　和夫(～17年度)　塔鼻　光司(20年度)

係長　塔鼻　光司(18･19年度)

専門員　塔鼻　光司(～17年度)　坪根　伸也　池邉千太郎(19年度～)

調査担当　(主　任)
永松　正大(第11～13地点)
(主　事)
五十川　雄也(第1～10地点)
(嘱　託)
山本　哲也(第6～13地点)　羽田野裕之(第1～3地点)
苅谷　史穂(第4～8地点)
このほか以下の職員の協力を得た
河野史郎　高畠　豊　塩地潤一　佐藤道文　古川　匠
長　直信　仲矢咲紀　姫野久恵　松田幸之助　岩尾美保子

(大分市耕地林業課)

農政部次長兼耕地林業課長　加藤　和夫(17年度)　宮下　照嘉(18年度)　藤田　壽生(19年度～)

課長　吉良　則生(16年度)

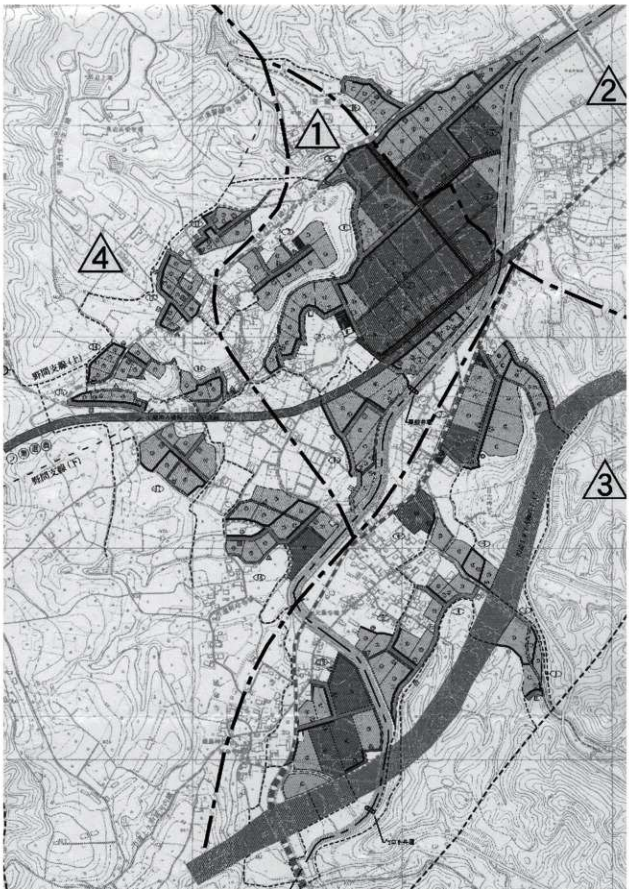
耕地第２係　麻生　敏明(～19年度)　安東　政男（20年度）

庶務係　工藤　寿嗣(16年度)　柴田　悠貴(17年度～)

（整理作業員）
17年度　藤原　彰子
18年度　沢田　香織　安部　真弓　平田ちはる　松木　晴美
19年度　平田ちはる　松木　晴美　安部　真弓　岩田　和子
20年度　永井　勝代　首藤久美子(～7月)　小島　愛(8月～)

（発掘作業員）（16～18年度）　佐々木百合子　指原　敦　達田忠雄　池永富治　宮崎純子
富来直洋　富来保治　池永忠夫　坂本清　指原洋嗣
指原徳市　秦忠次　安達重子　安部昭子　安達廣子
神田ムツ子　工藤政子　小西達彦　富永妙子　佐々木盛子
後藤トシ子　冨永妙子　別宮けい子　御手洗幸子　佐藤幸一
荻田正明　後藤周一　成瀬弘子　渡邉孝雄　三島栄治
薬師寺眞佐代　渡辺津代子　瀧田東　法花津勲
早崎昭太郎　朝倉兼記　(以上　順不同)

（来　跡　者）　小野正敏　市毛　勲　田中裕介　苅谷俊介　小柳和宏
坂本嘉弘　綿貫俊一　土居和幸　渡藤一重　高橋　徹
神田高士　小林昭彦　(以上順不同)

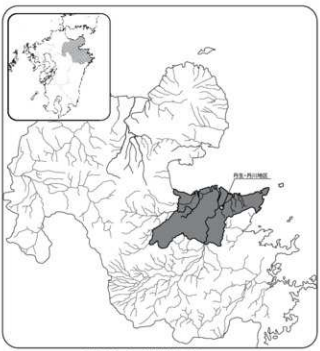


第 1 図　経営体育成基盤整備（丹川地区）対象地（1/25000）

第２節　遺跡の立地と環境

(1) 地理的環境

丹生川坂ノ市条里跡・丹生遺跡群は大分平野を北流する大野川と九六位山系に挟まれた丹生川中上流域沿いに位置している。四国南部から佐賀関半島から坂ノ市南部を経て上戸次一帯につづく地域は、結晶片岩と呼ばれる変成岩からなる佐賀関変成岩類が分布し、九六位山系などは佐賀関変成岩類により形成されている。



第２図　遺跡位置図

丹生台地は地質学的には第4期更新世の大在層と城原層の堆積層から形成され、大在層は丹生台地の標高50～90mの間に分布し、礫層・砂質泥層からなり、海棲貝化石を産出する。城原層は丹生台地東側の標高40～50mの平坦面を形成する。結晶片岩を主体とする礫層(下部)と海棲貝化石を含む泥層(上部)から成る。丹生台地の大在・城原層以外の段丘礫層は各河川により堆積した層であり、沖積世に入ると各河川の氾濫源などで堆積層ができたり、縄文時代には海面上昇により、現在の平地の奥地まで海水が入り、砂・泥が堆積した。

丹生台地と九六位山系の間には九六位山系から広内、赤迫池を通っている丹生川が北流し、矮小な沖積平野を形成している。丹生川は丹生台地からの谷水、九六位山系側からは樅ノ木山山系から４つの支流が合流している。

沖積平野では、古代・中世の条里が施行され、水田が営まれ、その景観は過去の風景を現在に投影したようなものである。現在でも低地では水田耕作が行われており、特に水田下に堆積している厚い粘土質層は米作には適しており、「丹生米」として親しまれている。丹生台地上でも水田、畑作、家畜などが行われている。昭和35年前後から丹生台地上では、開墾や宅地造成に伴って、土地造成が大部分で行われ、この時に破壊された遺跡も多いと考えられる。

(2) 歴史的環境

丹生川坂ノ市条里跡・丹生遺跡群は大分市大字丹生・丹川に立地する。『豊後国風土記』によると「海部郡　郷肆所里十二　駅一所　烽二所　・・・丹生郷在郡西　昔時之人　取此山沙　該獲朱沙　因曰丹生郷、・・・」とあり、「丹生」の地名は古代までは遡ることができ、丹（朱）を産出していることに由来している。

ところで丹生台地は以前、前期旧石器時代存否論争にも該当する地域であり、考古学史にも名を残す地域であり、昭和37年～同42年まで古代学協会による発掘調査が実施された(古代学協会1968)。現在では、前期旧石器時代は問題を残しているが、後期旧石器時代としては、良好な遺跡である。今回の発掘調査では旧石器時代の遺物は発見されていない。

縄文時代は、これまでの調査としては、丹生遺跡群長迫地点において(大分市教委2002)、縄文時代早期と推定される礫器が、岡遺跡群の内無川4地区において、縄文時代早期の集石が跡が確認できている。また今回の調査では、試掘調査において縄文時代後期の包含層、第3･10地点において縄文時代晩期末～弥生時代早期の埋甕が発見された。

弥生時代は、昭和36年に「丹生川」遺跡として、大分大学調査団が発掘調査し(大分大学1962)、弥生時代の水田に伴う矢板や木製農耕具類が多数出土した。調査当時は弥生時代中期頃の水田跡ができていたが、木器類の中にナスビ形木製品が存在し、ナスビ形木製品は現在の研究によると弥生時代後期後葉から終末を遡らないことか

ら、丹生川遺跡の水田跡は弥生時代終末～古墳時代初頭くらいに位置付けられる。ただ近接する一木経塚原で、中期の円形竪穴住居跡3基が調査されている。貝殻山遺跡(大分市教委2005)では、弥生時代中期の溜め井状遺構が検出されている。岡遺跡群・上辻遺跡(大分県埋文セ2007)では、弥生時代の後期を主体とする円形と方形の竪穴住居跡が合計で40基以上が確認されており、小児用甕棺墓や土坑(木棺の可能性含む)墓が10基ほど確認されている。また上辻遺跡のすぐ南に位置する清水迫遺跡では平形銅剣なども見つかっている。岡・一木の丹生台地上には弥生時代中期～後期にかけての集落が展開しており、低地では水田耕作を営んでいたのであろう。今回の調査でも第10地点で、中期の円形竪穴住居跡が5基ほど、また第1地点では、後期～終末にかけての水田に伴うであろう祭祀行為が確認できる溝跡なども発見されており、弥生時代の丹生川中・上流域の低地は生産遺跡、周辺の台地上には集落が営まれていたと推定される。

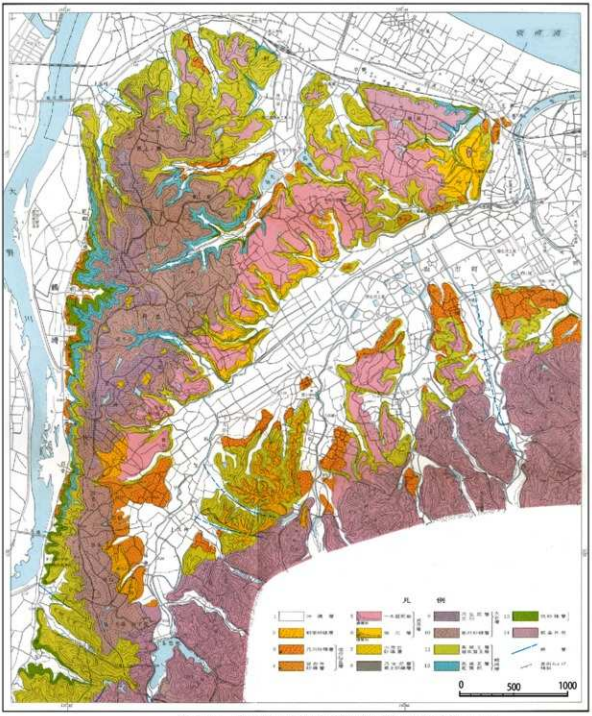
古墳時代は、丹生台地の北東部に位置する県下最大級の亀塚古墳を筆頭に、丹生川流域沿いの丹生台地上には大小の古墳が多く築かれた。野間地区にある野間古墳群は10基を数え、前方後円墳、円墳が展開する。昭和40年に発掘調査が行われている。1号墳からは壺型埴輪、3号墳は石釧・変形渦状文鏡・管玉・鉄鏃、10号墳は神人獣形鏡・勾玉・蕨手刀子等が出土している。野間古墳群は、出土遺物や主体部に結晶片岩製箱式石棺が使用されていることから、5世紀の範疇で考えてよいと思われるが、石釧が出土した3号墳は4世紀代まで遡る可能性を残す。一方、岡遺跡群では岡1号墳(円墳)と2号墳(円墳)の調査が行われ、1号墳の主体部は凝灰岩製箱式石棺で、2号墳は結晶片岩製箱式石棺であることから、野間古墳群の造営時期とほぼ同時くらいの造営であろう。

丹生台地上には古墳が多く築かれているが、丹生川を挟んで東側の丘陵下には横穴墓が展開しており、丹生川を挟んで東西で墓地形態が相違しているのは特徴的である。集落跡は、古墳の総数に対して少数である。中安遺跡第2・3次調査(大分市教委2005)において、6世紀代の住居跡、今回調査の第4地点において、4世紀代の竪穴建物跡1基と丹の貯蔵穴跡が1基確認できている。西王寺遺跡(大分県教委2002)では竪穴建物跡が5基ほど(時期不明含む)が確認されている。久土遺跡(大分市教委1990)では、6世紀の竪穴建物跡が確認できている。現段階では古墳時代集落跡の調査はわずかであるが、丹生川中上流域では低地に展開し、丹生川下流域では台地上にも展開していることがわかる。ただ、調査数が少ないことから、これからの調査により、丹生川流域の古墳時代集落と墓地の関連が課題となろう。

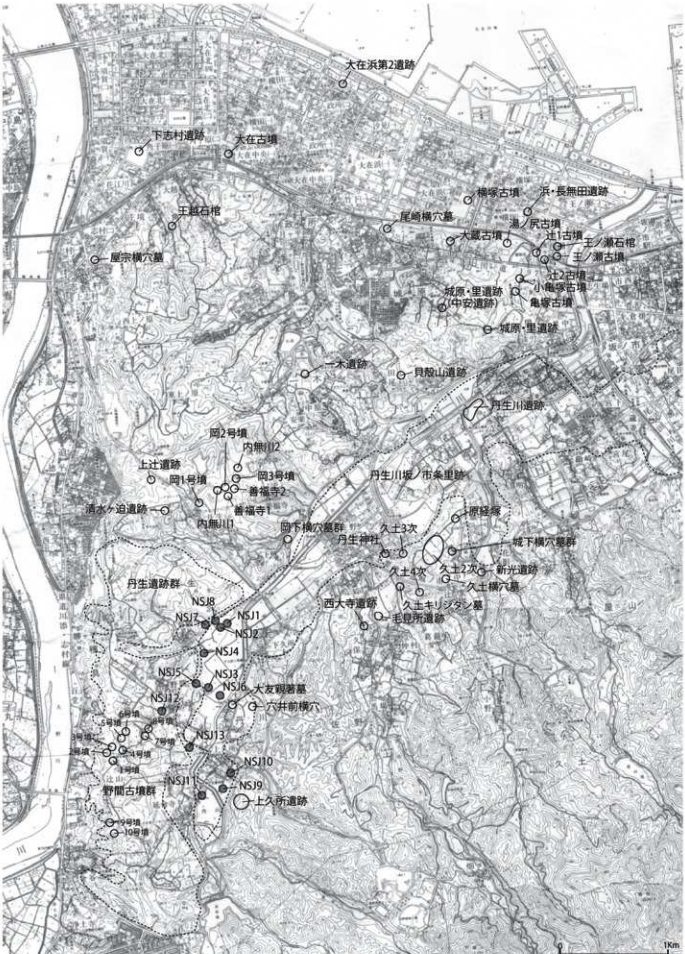
飛鳥・奈良・平安時代は丹生台地北東部の城原において、海部郡衙跡である城原・里遺跡第3～4次調査(中安遺跡)が確認され、7世紀後半～8世紀後半の間に3期の変遷が認められる。また海部郡衙跡から東方400mほどの箇所に城原・里遺跡第1・2、5～9次調査地点がある。ここでは、海部郡衙跡よりも1段階古い規格性をもった掘立柱建物跡群や竪穴建物跡が展開する。推定ではあるが、海部群衙前身の海部評衙跡と考えられているところである。また低地の丹生川流域にも古代の掘立柱建物跡などの遺構は丹生川が形成した矮小な沖積平野にも多く展開していることがわかっている。特に丹生川から別府湾に注ぐ坂ノ市地域は、古代の坂門津と推定され、拠点的な港があった可能性が高い。この丹生川流域の低地には多くの遺跡が展開している。前田遺跡(大分市教委1990)は、8～9世紀にかけての掘立柱建物跡(倉庫含む)や須恵器・土師器などの遺物もまとまって出土している。丹生川坂ノ市条里跡(里・川田遺跡)(大分市教委1998)では、円面硯片や焼塩用製塩土器が出土。新光遺跡(大分県教委1990)では、隅丸方形の柱穴を持つ掘立柱建物跡が1棟検出されており、今回の調査では、第4・8・12地点でも方形堀方の柱穴を持つ掘立柱建物跡が展開し、集石跡も見つかっている。また第7地点では溝と掘立柱建物跡の内部に石を敷いている遺構が検出されている。一方で、丹生台地上では岡遺跡群内無川3・4地区(大分県埋文セ2007)において、平安時代後期の炭窯跡が検出されている。このように丹生川流域沿いの低地にも掘立柱建物跡が広範囲にわたって展開していることがわかっており、公的施設である可能性が高い。特に今回調査した丹生川上流域に展開する古代遺構は、前述したように豊後国風土記において「丹生郷　郡西在・・」とあることから、ここでいう郡を海部郡衙とするのであれば、ちょうど今回の調査地点は城原・里遺跡から西にあたり、丹生郷の公的施設が展開する地域にあたるのではないかと推定される。

中世は丹生川中・上流域は丹生庄にあたる。丹生庄は前身は丹生郷であり、1つの見解(大分市1987)によると、

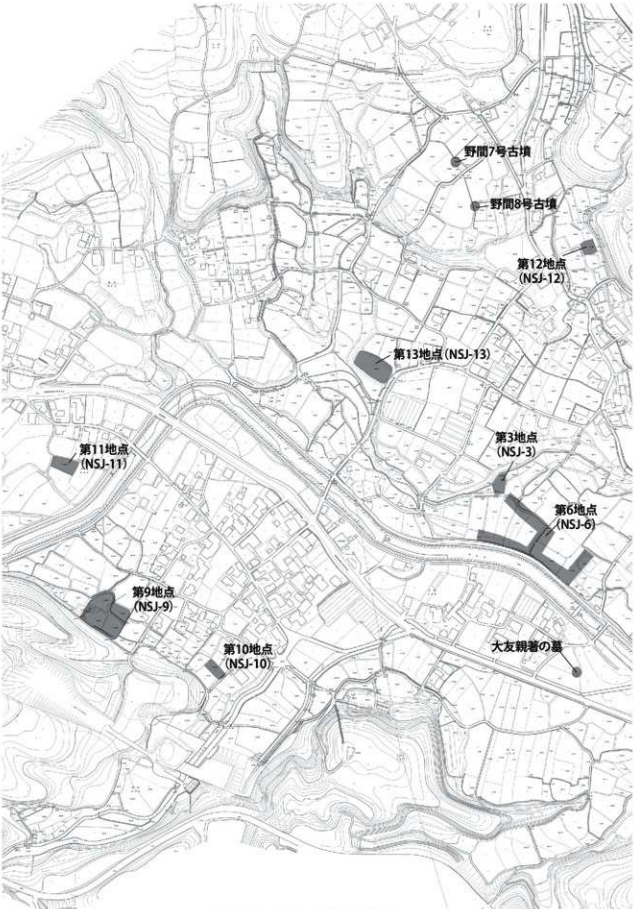
丹生郷は現在の臼杵市まで含んでいた可能性もあり、丹生郷から丹生庄と臼杵庄に分かれたと解釈する考えもある。丹生川下流域は、大野川までの西側を大佐井郷・現在の坂ノ市付近から東側一帯が小佐井郷である。これまでの中世の調査状況は、丹生台地上では岡遺跡群善福寺2地区(大分県埋文セ2007)において掘立柱建物跡1棟、城原・里遺跡第3・4次調査において、掘立柱建物跡数棟・木棺墓1基が検出された。丹生川の東岸の久土遺跡第3次調査では、14世紀～15世紀にかけての掘立柱建物跡数棟・溝跡・16世紀の木棺墓1基が検出された。今回の調査と近接している上久所遺跡(大分県教委2002)では、中世の掘立柱建物跡数棟が検出されている。これまでの調査では、丹生庄で中世前期の集落跡は発見されていなかったが、今回の第9・10地点の調査において、11世紀～13世紀の集落跡が発見された。建物配置と出土遺物の様相から丹生庄の庄官クラス以上の人物の屋敷跡と想定される。14世紀～16世紀かけては、第3～6、13地点で確認された。特に14世紀後葉～15世紀にかけては、



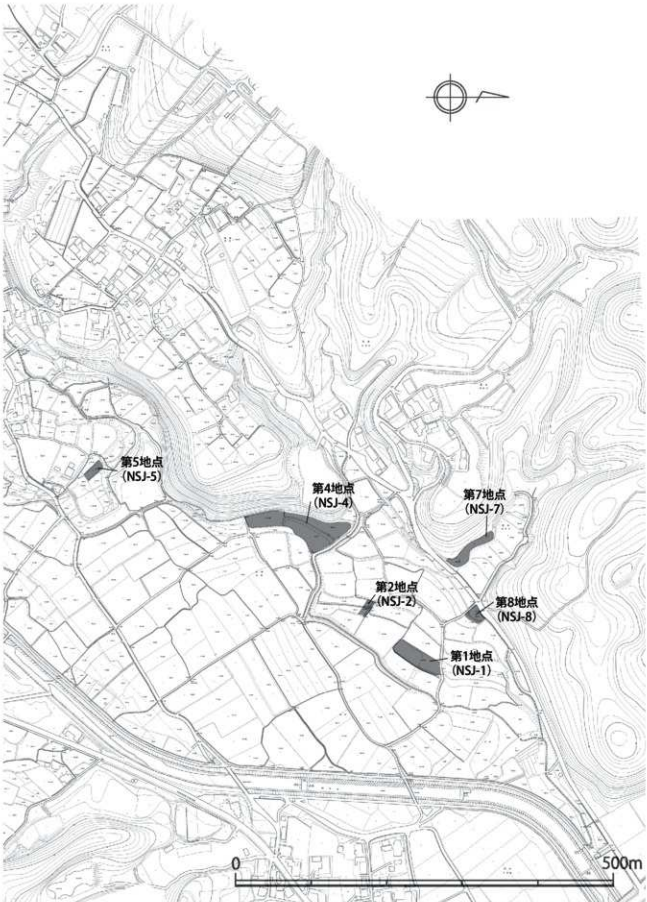
第 3 図　丹生地質図 (1/35000)（古代学協会 1968 より）



第 4 図　発掘調査済の遺跡と古墳，石造物など位置図 (1/35000)



第 5 図　調査区配置図 (1/5000)

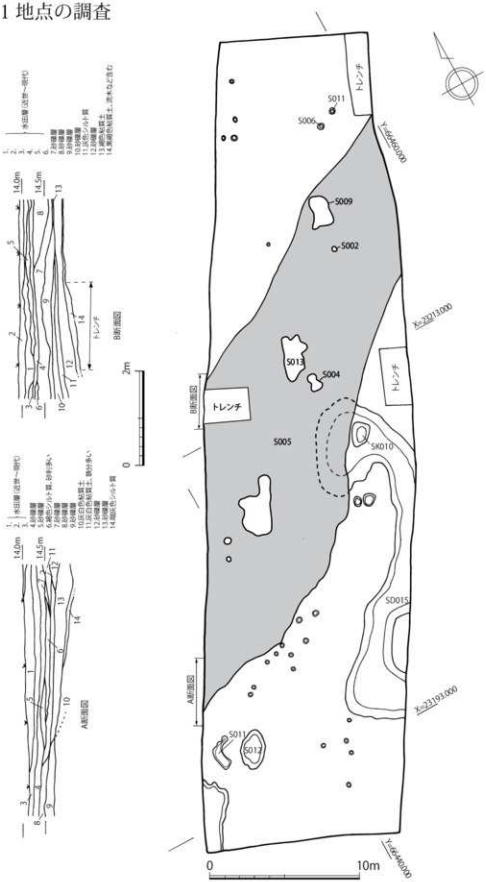

第5地点
(NSJ-5)
第4地点
(NSJ-4)
第7地点
(NSJ-7)
第2地点
(NSJ-2)
第8地点
(NSJ-8)
第1地点
(NSJ-1)
0
500m

豊後国守護職を務めた大友氏11代大友親著の墓が存在し、さらに第6地点で、約500枚かわらけの一括廃棄土坑が検出され、儀式・儀礼に用いられたものと考えられる。さらに、親著公の戒名にある「大恵寺」が丹川地区に字名として存在している。したがって、大友親著と丹川との関連が深いことが想定される。その後、15世紀～16世紀にかけて、大友氏の加判衆にも抜擢された齋藤氏が丹生庄を治めることとなる。今回の調査に伴って行ったもう一つの調査に、中世荘園集落遺跡調査(別府大学に委託)があり、丹生庄の中世の景観復元に大きな成果を上げており(別章参照)、さらに中山昭則氏は現在の圃場整備事業が地域社会へ与える影響を、過去の事例を踏まえて検証し、課題を提起されていることは、これまでにない視点であり、意義深いと思われる。

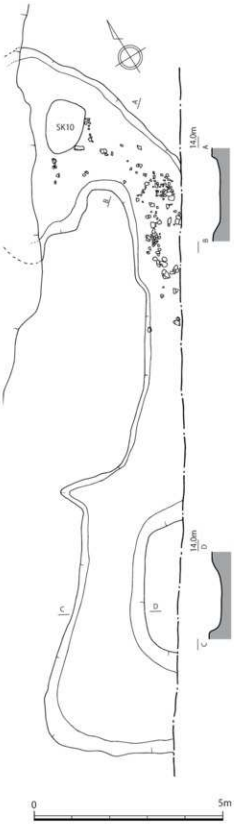
以上のように旧石器時代～中世において、これまでの発掘調査の成果を概観したが、近世・近代も含めて、丹生川流域の低地や丹生台地上において、人々の生活跡は断絶することなく、現代にまで至っている。また丹生川中上流域沿いでの大規模な発掘調査は今回が初めてであり、この地域には欠くことのできない資料が多く出土した。

参考文献

大分県教育委員会2002『西王寺遺跡　毛見所遺跡　上久所遺跡　浄土寺遺跡』
大分市教育委員会2005『海部の遺跡1』
大分市教育委員会1990『大分市埋蔵文化財年報1』
大分市教育委員会2002『大分市埋蔵文化財年報13』
大分市教育委員会1998『大分市埋蔵文化財年報9』
大分県埋蔵文化財センター 2007『岡遺跡群　上辻遺跡』
大分県埋蔵文化財センター 2007『岡遺跡群』
平凡社1995『大分県の地名　日本歴史地名体系45』
大分市1987『大分市史　上巻』
大分市1987『大分市史　中巻』
大分市教育委員会2006『大分市市内遺跡確認調査概報』
大分市教育委員会2006『城原・里遺跡』
渡辺澄夫1987『豊後国佐賀郷・丹生荘・白杵荘・佐伯荘・柴山村史料　豊後国荘園公領史料集成6』
古代学協会1968『丹生』
大分県教育委員会1990『新光遺跡』
大分大学学芸学部1962『丹生川』



第 6 図　第 1 地点遺構配置図（1/250）



第 7 図　SD15 遺構実測図（1/100）

第 1 節　調査の内容

第 1 地点は丹生川上流域の西岸にあたり、大字「丹川」字「野間口」、第 2 地点の東 200 mに位置する。調査面積は 1900 ㎡である。調査地点は丹生川流域の低地に位置しており、西側と南側に矮小な開析谷があり、そこからの谷水が丹生川に注ぐ。調査では、検出標高 14 mほどで、地盤は沖積地のため、礫や砂地で安定はしていない。検出遺構・出土遺物は弥生時代後期～終末の溝、自然流路、土坑などが確認できた。基本層序 (第 6 図) は、上層は近世以後～現代の水田層が 2 ～ 3 層確認できる。下層は自然流路による礫や砂の堆積土層主体である。

第 2 節　遺構と遺物

(1) 概　要

第 1 調査地点の検出遺構は、溝・土坑・ピット・自然流路などで、弥生時代後期～終末の時期である。特に溝と自然流路の関係は合流しており、なおかつ合流地点付近のみで廃棄された土器が多量に出土している。周辺に弥生時代の集落が確認できていないことから、祭祀に用いられた土器を廃棄したものと考えられる。溝は水田に伴う用排水路と考えられる。以下、詳細な説明を行っていく。

(2) 弥生時代

イ．溝（SD）・自然流路 (SR)

溝は 1 条検出した。

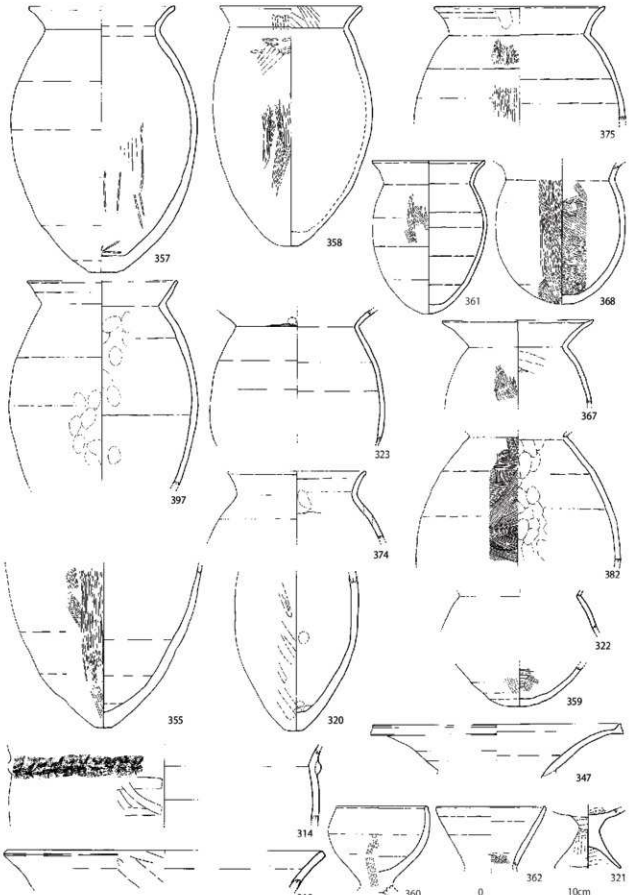
SD15（第 7 図）

遺構は、調査区南東で、南北に蛇行する状況で検出した。SK10 に切られ、自然流路と合流する。全長 15 ＋ α m、最大幅は 3.5 m、最大深 0.4 mを測る。埋土は灰色粘質土主体で、最下層は砂を多く含む。溝の南と北の床面レベル差は北側の方が南側よりも 0.2 mほど低い。土層から水流があったと考えられ、床面の高低さから、自然流路に向かって流れていたと推定される。出土遺物（第 8 図）は弥生土器の甕・(高台付) 鉢などである。特に甕は長胴で、外底は若干の平底を残している。347 は口縁端部を上方に摘み上げる。314 は鉢で頸部に刻み目の突帯を廻す。外面は工具で横方向に器面調整している。

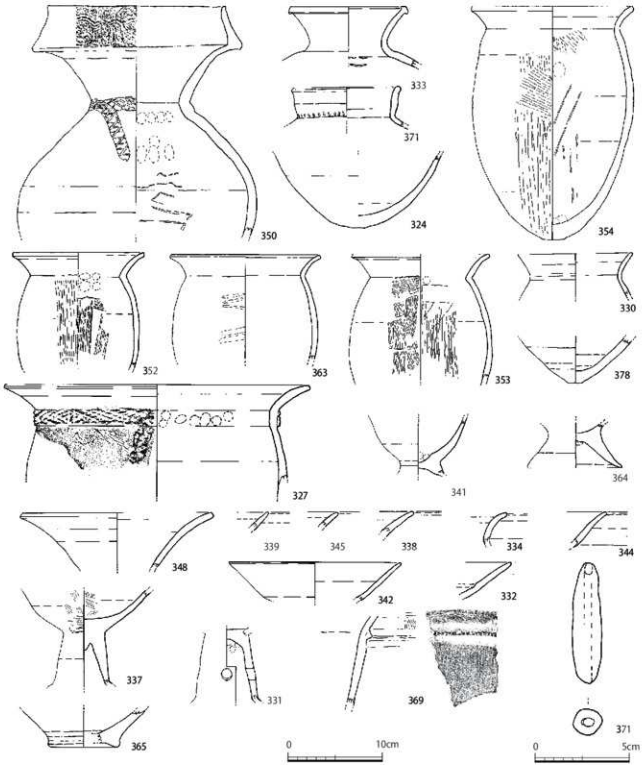
自然流路 (SR)（第 6 図）

自然流路は、調査区全体の地盤や基本層序下層の大半がそうであるが、ここでは SD15 との関係がわかる自然流路を掲げて報告する。

流路は、調査区中央付近で検出され、東西に延びる。現地形などから考えると西から東へ、丹生川に向かって開析谷か



第 8 図　SD15 出土遺物実測図（1/4）



第 9 図　自然流路出土遺物実測図（1/4・1/2）

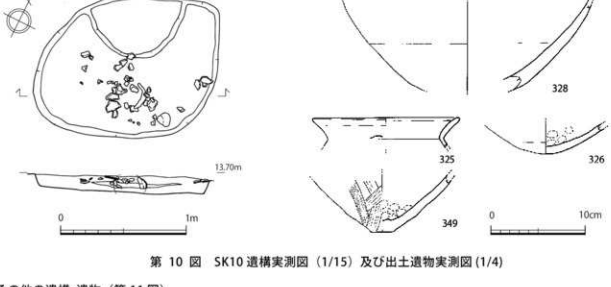
ら流れたものと推定される。全長は 22 ＋ α m、最大幅は 12 m、深さは 0.5 ＋ α m である。SD15 と合流している。埋土は灰黒色粘砂質土で礫などが混じる。出土遺物 (第 9 図) は弥生土器の壺・甕・ (台付) 鉢・高杯、土錘などである。369 は下城式土器甕で、その他は後期～終末主体である。この他、掲載していないが平板の加工木なども出土している。

ロ．土坑（SK）

土坑は数基確認できたが、SK10 以外は不定形を呈するものが多く、出土遺物も皆無であるため、ここでは取り上げない。

SK10（第 10 図）

遺構は調査区中央付近で検出し、SD15 を切る。形状は不定形な楕円状で、北側に一段テラスを設ける。規模は長軸 1.5 m、短軸 1.1 m、最大深 0.15 mを測る。埋土は暗灰色粘質土である。出土遺物（第 10 図）は、弥生土器で、壺・甕などである。



第 10 図　SK10 遺構実測図（1/15）及び出土遺物実測図（1/4）

その他の遺構・遺物（第 11 図）

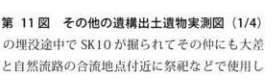
遺構は前述した以外にも検出しているが、ここでは出土遺物のみを取り上げる。391 は S4 からの出土、329 は S2 からの出土である。

包含層出土遺物（第 12 図）

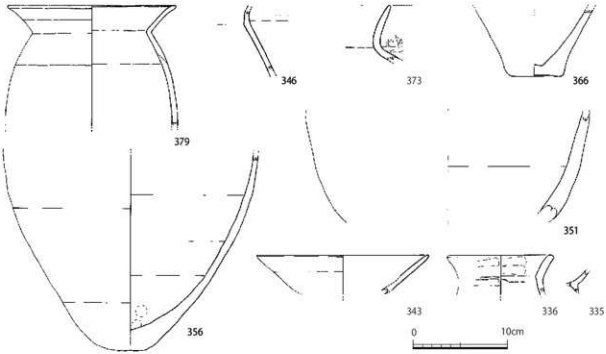
包含層は自然流路堆積土を指し、報告した自然流路以外、特に検出面より上層の出土遺物を報告する。遺物のほとんどは弥生土器の壺・甕・高杯などである。

第 3 節　小　結

第 1 調査地点は、溝・自然流路・土坑などを検出した。出土遺物からすると、弥生時代後期後葉～終末にかけての土器群であり、古墳時代までは下らないと思われる。また SD15 は、自然流路と合流している。SD15 は水流も確認できたため、その周辺の地形の状況から考えて、水田に伴う排水路と考えられる。弥生時代の水田跡は丹生川坂ノ市条里跡では確認できていないが、下流の丹生川遺跡の調査などでは、水田耕作に伴う木製品などが多量に出土している。また SD15 の自然流路との合流地点付近では、土器が多量に廃棄されており、周辺に弥生時代集落がないことと、さらに SD15 の埋没途中で SK10 が掘られてその仲にも大差ない時期の弥生土器が廃棄されていることからすると、SD15 と自然流路の合流地点付近に祭祀などで使用した土器を廃棄したと考えられる。ただ当該期の弥生時代集落は今回の全体の調査では見つかっておらず、丹生台地上に展開している可能性が高い。今後の調査に期待したい。

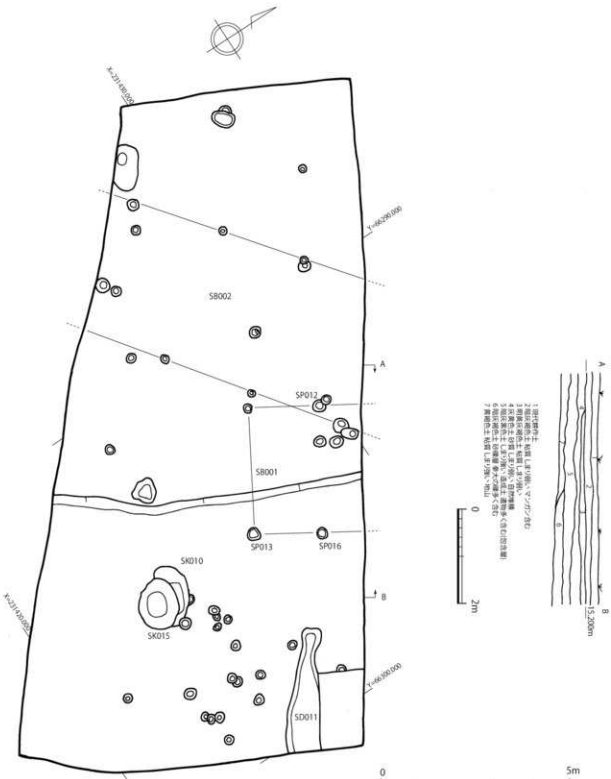


第 11 図　その他の遺構出土遺物実測図（1/4）



第 12 図　包含層出土遺物実測図（1/4）

ラジコンヘリによる空中写真風景



第 13 図　第２地点遺構配置図（1/100）

第１節　調査の内容

第２調査地点は、丹生川西岸に位置し、大字「丹川」字「野間口」にあたる。第１調査地点の 200 m西、第４調査地点の 300m 東に位置している。調査面積は 130 ㎡である。調査地点の現況は水田である。丹生川の河岸段丘上に位置しているが、遺構の検出標高約 15 mほどで、検出地盤は砂礫の堆積層である。検出遺構は、土坑・溝・ピット・掘立柱建物跡などである。出土遺物は古代土師器・弥生土器主体である。遺構密度は低い。

第２節　遺構と遺物

(1) 概　要

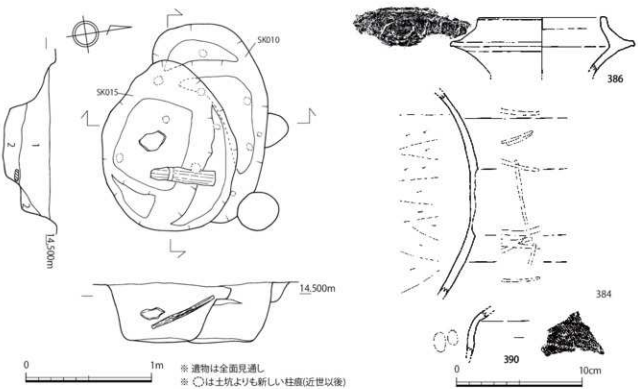
第２調査地点は、弥生時代の土坑２基、古代の溝跡・掘立柱建物跡２棟＋α・ピット、包含層である。基本層序（第図）は、１～４層は水田層、５層は古代の包含層で、５層除去で、遺構検出面である。５層からは比較的多くの遺物が出土した。

(2) 弥生時代

イ．土坑 (SK)

SK10・15(第 14 図)

遺構は調査区の東側で検出した。SK15 が SK10 を切る。また SK10・15 には新しい時代の杭 10 本弱が切る状況で確認できた。SK10 の規模は長軸 1.6 m、短軸 0.75 ＋ α m、最大深 0.48 mを測る。出土遺物は皆無であるが、埋土の関係から SK10 と大差ない時期と考えられる。SK15 は長軸 1.35 m、短軸 1.1 m、最大深 0.5 m を測る。北側と東側に１段テラスがつく。出土遺物 (第 14 図) は弥生土器と、加工木である。386 は複合口縁壺の上部、384 は壺・甕の胴部である。内面は横方向のケズリ、外面はナデ後ミガキで調整する。390 は頸部周辺の破片で、外面は刷毛状の調整が確認できる。



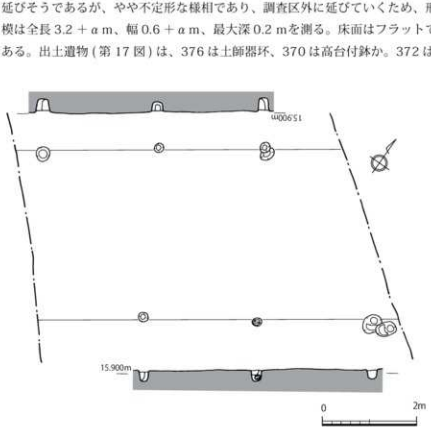
第 14 図　SK015 遺構・遺物実測図（1/30・1/3）

(3) 古代以前

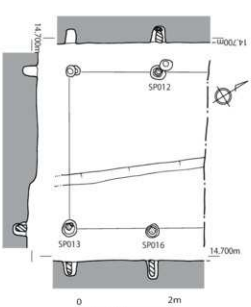
イ．溝 (SD)

SD11(第 17 図)

遺構は調査区東側で検出した。遺構の切り合いはないが、遺構の東側を試掘トレンチがかかる。溝跡は南北に延びそうであるが、やや不定形な様相であり、調査区外に延びていくため、形状と規模は明確ではない。検出規模は全長 3.2 ＋ α m、幅 0.6 ＋ α m、最大深 0.2 m を測る。床面はフラットである。埋土は暗褐灰色粘砂質土である。出土遺物 (第 17 図) は、376 は土師器坏、370 は高台付鉢か。372 は口縁部、383 は土師器甕である。



第 15 図　SB001 遺構実測図 (1/80)



第 16 図　SB002 遺構実測図 (1/80)

ロ．掘立柱建物跡 (SB)

SB001(第 15 図)

遺構は調査区西側で検出した。他のピットとの切り合い関係をもつ。建物跡は調査区外まで延びそうで、全体の規模は不明であるが、建物方位は N55°E、梁行 2 ＋ α 間×桁行 1 ＋ α 間、身舎面積 25 ＋ α ㎡である。出土遺物は皆無である。

SB002(第 16 図)

遺構は調査区中央付近で検出した。他のピットとの切り合い関係をもつ。建物跡は調査区外に延び、全体の規模は不明である。建物方位は N30°E、梁行 1 ＋ α 間×桁行 1 ＋ α 間、身舎面積 10 ＋ α ㎡である。出土遺物は皆無であるが、SP12・13・16 から柱木の最下部が残存していた。

包含層 (第 13・18 図)

包含層は調査区全体に及ぶ。土層断面図 (第 13 図) の 5 層に該当する。遺物 (第 18 図) は古墳～古代を中心に出土しているが、小破片が多量のため、掲載できる土器は少ない。複合口縁壺、鉢、甕、高坏などが出土している。